

高信頼性ICタグ

現場に始まり経営に貢献

ドラッカーはマネジメントの発明者と言われています。宇佐美光雄は世界最小のICチップの発明者と言われています。それは現場からの切実なニーズに基づいています。

世界最小であるためには、まず無線チップであること、アンテナを内蔵すること、SOIというSilicon on Insulator構造を採用してコンパクトにレイアウトしてもラッチアップというチップ破壊に至る副作用が発生しないこと、電子線によるID番号の書き込みが必要です。

現場のニーズは多くの示唆に富んでいます。世界最小のICチップは現場のニーズから出発しています。

インクジェットプリンタにより、全ての商品に貼り付けられた世界最小のICチップは商品の認識をかごのなかからいちいち取り出さずにできます。

このようにすると、スーパーのレジの人件費を大幅に減らし、経営に大きく貢献します。現場に始まりそれは経営すなわちマネジメントに貢献するのです。